

新規事業採択時評価結果（平成21年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業の概要

事業名	一般国道449号 本部北道路	事業区分	一般国道	事業主体	沖縄県
起終点	自：沖縄県本部町字渡久地 至：沖縄県本部町字大浜			延長	L=1.6km
事業概要	<p>国道449号は、本部町浦崎を起点とし、名護市宮里を終点とする延長約17kmの主要幹線道路で、国道505号とともに本部半島一周道路を形成し、本県の観光主要拠点である国営沖縄記念公園（美ら海水族館）や地方拠点港湾である本部港等へのアクセス道路として重要な役割を果たしている。</p> <p>本事業は、国道449号本部町字渡久地の本部大橋北交差点から本部町字大浜の大浜交差点までの延長1.6kmの区間の道路改築事業である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>沖縄県の観光入域客数が順調に推移していることに伴い、北部地域有数の観光拠点である国営沖縄記念公園（美ら海水族館）や世界遺産の今帰仁城跡等への観光客も増加傾向にあり、当該地域の交通需要は今後ますます増加することが予想されるが、国道449号のうち当該事業区間のみ2車線であり、交通容量を超える交通需要がある。</p> <p>また、防災拠点である本部港等の備蓄集積拠点を連絡する緊急輸送道路の耐震性を確保する必要がある。</p> <p>国道449号本部北道路の整備により国道449号の全線4車線化を図り、本部地域の観光拠点へのアクセス性の向上、緊急輸送道路のネットワークや耐震性を確保することにより地域振興を支援する。</p>				
全体事業費	51億円	計画交通量	14,100～15,300台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

第3次本部町総合計画基本計画（平成16年3月）において国道449号の整備促進が位置付けられている。また、本部町長より平成20年5月に整備に関する要請を受けている。

事業採択の前提条件

- ・便益が費用を上回っている。
- ・本部町が実施したまちづくり推進のための住民ワークショップにおいて、「国道449号の早期4車線化」が施策に位置付けられている（住民の合意形成が図られている）。

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.9	総費用：43億円 （事業費：42億円 維持管理費：0.65億円）	総便益：168億円 （走行時間短縮便益：165億円 走行経費減少便益：2.4億円 交通事故減少便益：0.65億円）	基準年 平成20年	
	感度分析の結果		交通量変動 B/C=4.3 (交通量 +10%)	B/C=3.5 (交通量 -10%)		
			事業費変動 B/C=3.5 (事業費 +10%)	B/C=4.3 (事業費 -10%)		
			事業期間変動 B/C=3.8 (事業期間 +1年)	B/C=4.0 (事業期間 -1年)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	<p>県内補助国道における渋滞損失時間が高い区間の渋滞緩和が見込まれる。</p> <p>【渋滞損失時間の改善】 H42整備有無：約45.6万人時/年 → 約1.5万人時/年（約44.1万人時/年改善） 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】 現況：約2.7万人時/年km 沖縄県平均：約4.1万人時/年km（約0.66倍） 全国平均：約2.0万人時/年km（約1.35倍）</p> <p>【渋滞度曲線】 【その他の特徴】 混雑多発箇所（本部大橋北交差点）の改良 ※データは県内平均・全国平均と比較すること</p>		
		事故対策	◎	<p>県管理道路における死傷事故率が高い区間の事故の減少が見込まれる。</p> <p>【死傷事故率】 約489件/億台km（現況）（死傷事故率比（県内平均比）6.24） （事故率曲線における位置：41/5358 県管理道路ITARDA区間） 沖縄県平均：78.4件/億台km 全国平均：115.3件/億台km</p> <p>【その他の特徴】 高事故率箇所（大浜交差点、本部大橋北交差点）の改良 ※データは県内平均・全国平均と比較すること</p>		
	社会全体への影響	歩行空間	○	<p>・歩道の整備により、沿線に立地する公共施設や病院、商業施設、住宅等を利用する歩行者・自転車の安全を図る。</p>		
		住民生活	◎	<p>・沖縄県北部救急医療圏 第二次救急医療施設までの走行時間の短縮による安心ある暮らしを確保する。（救急患者搬送時間が当該区間で約7分短縮）</p>		
		地域経済	◎	<p>・国営沖縄記念公園（美ら海水族館）等の観光施設へのアクセス性向上により観光振興に寄与する</p>		
		災害	◎	<p>・緊急輸送道路としての機能強化が図られる。（第2次緊急輸送道路）</p>		
		環境	◎	<p>・CO₂、NO_x、SPMの排出量が削減される。</p>		
	◎	<p>・本部町が港湾事業や河川事業等と連携し推進する「みなとまちづくり」に寄与する。</p>				
事業実施環境	◎	<p>・住民の合意形成が図られている。</p> <p>・隣接する国道449号本部南道路と一体的な整備が必要である。</p>				

採択の理由

- ・費用対便益費が3.9と便益が費用を上回っている。
- ・国道449号は国道58号と連結し、沖縄自動車道・那覇空港自動車道などとともに沖縄本島の基幹道路ネットワークを形成する。当該区間の整備は、沖縄県の産業振興、地域間交流促進に寄与する。
- ・国道449号や周辺道路の渋滞緩和や交通事故の低減が見込まれる。
- ・緊急輸送道路の耐震性を向上させることにより、緊急輸送道路のネットワークが強化される。

以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。